



大砂土中だより

はつ らつ

澆 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.4 令和4年7月1日号

避難所運営訓練

校長 上続 昌司

6月は、学校総合体育大会、修学旅行が無事に開催できたことをご報告するとともに、保護者の皆様や地域の皆様にご理解・ご協力をいただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。学校総合体育大会では、どの種目も練習してきた成果を発揮しようとして最後まで闘いぬく姿がとても印象に残っています。また、修学旅行では成功させようという思いが一人ひとりであり、生き生きとした活動を見ることができたことも大変嬉しく思います。

さて、6月25日土曜日に、見沼区避難所運営訓練が実施されました。災害等が起きた場合は、大砂土中学校も避難所となります。過去2年間は新型コロナウイルスの影響で見送られてきましたが、本年度は感染対策を講じて久しぶりに実施することができました。見沼区は、開催時間を朝、昼、夜の3つに分けていて、本年度は夜の部として午後6時から行いました。事前に生徒や保護者の皆様呼び掛け参加を募った結果、120名を超える生徒の皆さんが集まってくれました。当日は、日中の気温が35度以上の真夏日で午後6時を過ぎても30度を超える蒸し暑い状況でしたが、環境班、情報班等、いくつかのグループに分かれ、一人ひとりが一生懸命に活動していました。避難してくる方々の名簿を作成する仕事、水やパン等の食料を袋詰めする作業等、いろいろな仕事がありました。地域の方々から「この時間にこんなにも多くの生徒の皆さんが集まってくれて本当に嬉しく思います」や「話を聞く態度、意欲的に活動する態度、とても立派ですね」等のお褒めの言葉をいただくことができました。

数年前、別の学校で避難所運営訓練を行った時、さいたま市役所の方からこんな話を聞いたことがあります。「熊本で大きな地震があり多くの避難所が開設されましたが、どの避難所でも活躍していたのは、その地域の中高生でした。水や食料、段ボール等を運ぶ仕事や、お年寄りや小さな子ども達の面倒を見てくれる等、中高生が進んで活動してくれたことが、とても大きな力となりました。」という内容です。

今回、大砂土中学校の生徒がこの訓練に参加してくれた積極的な想いと、実際に避難所となった場合に何が必要なのかを考えること、経験できたことは大変貴重な財産になると強く感じました。いつ起きるかわからない災害に、普段から備えておくことの重要性を忘れず、もし、避難所が必要となってしまった時には、活躍してくれることを願っています。参加してくれた生徒の皆さん、ご協力いただいた保護者の皆様、訓練を運営していただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

最後になりますが、この1学期間、保護者の皆様、地域の皆様には本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございました。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。